

同友ひろしま

No. 486 2023. 1. 20



広島県中小企業家同友会：発行

広島市中区中町8番18号

広島クリスタルプラザ8F

TEL (082) 241-6006

FAX (082) 241-6007

<https://www.hiroshima.doyu.jp>

E-mail: info@hiroshima.doyu.jp

編集責任者・広報部長 原田 修治

代表理事年頭あいさつ	2
「全社一丸の会社をつくろう」役員オリエンテーション第4講	3
「激変の内外情勢をどうとらえるか」総会議案検討に向けて情勢学習会	4～5
広島同友会は50周年を機に「一般社団法人」へ組織変更します	6～7
日本政策金融公庫広島支店長をお迎えして/修道大学の起業家精神養成講座/Jobway企業展開催	8
入会者一覧/県理事会報告	9
事務局員紹介/訃報/名簿アプリについて	10



広島同友会
ホームページ

癸卯（みずのとう）～2023年は広島がアツい!!～（竹原市大久野島（うさぎ島））

おかげさまで広島同友会は創立50周年を迎えます。50周年を記念して、「青全交 in 広島9/14～15」「会員3000名の達成」「創立50周年記念式典10/6」「50周年記念誌の発行」「第八次中期ビジョン発表」「新支部（備北）設立6/30」「一般社団法人化」の7つの記念事業に取り組んでいます。全国の会員の皆さんを広島に迎え、ウサギのように飛躍する一年にしていきたいですね。

2023年 創立50周年をむかえます（1月1日現在の会員数 2,846名）

集え！燦然（3,000）と輝く広島同友会！ ～すべては行動することから始まる～

今月の題字

大植 栄氏

㈱メタルワーク福山 代表取締役
（副代表理事）



代表理事 年頭あいさつ



栗屋 充博氏
(旭調温工業㈱
代表取締役社長)

新年明けましておめでとうございます。
コロナ禍は未だ終息に至らず、国際情勢も不安定な中で新たな年を迎えましたが、広島同友会は今年10月6日に創立50周年を迎えます。自主的で自立した中小企業経営者団体として、会員70名でスタートし、1985年には会員1,000名、1990年には会員2,000名となり、現在(2022年12月末)の会員数は2,846名。創立50周年という大きな節目を迎える

にあたり、今年は①2023年度末会勢3,000名の達成、②創立50周年記念式典の開催(2023年10月6日)、③創立50周年記念誌の発刊、④第8次中期ビジョン(2028年に向けての5年ビジョン)の発表、⑤県北(三次市・庄原市・神石高原町エリア)に新支部の設立、⑥青年経営者全国交流会(2023年9月14日～15日：2,000名規模)の開催、⑦2024年度に向けて一般社団法人化、の7つの取り組みを進めます。

創立50周年を期に、100周年を見据えた新たな50年に向けて確かな一歩が踏み出せるよう、会員の皆さんと共に全力で取り組む所存ですので、今年も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



勝矢 珠容子氏
(㈱勝矢和裁
会長)

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの発症から3年、ロシアとウクライナの戦争ももうすぐ1年になり、急激な円高、物価高と今まで経験した事のない状況が続いています。

昨年参加した丸山先生の勉強会で、77年に一度こうした事が起っていると聞きました。この前は太平洋

戦争、その前は明治維新と。その中で必ずチャンスがある。ピンチをチャンスに変えたビジネスが世の中を変えて今がある。非常に心強さを感じる事のできた勉強会でした。課題は山積みですが、現状を受け入れつつしっかり前を向いて情報収集しながら同友会の仲間の人達と共に前進したいと思いました。

そして今年の秋、広島同友会は創立50周年を迎えます。今までの50年間どんな事があって今を迎えるのかを、当初から在局の国広様、先輩の皆様よりお聞きして、次の100周年に向って、広島同友会らしさを追求しながら、更なる発展を目指していけたらと思っています。



立石 克昭氏
(㈱タテイシ広美社
会長)

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。

昨年は世界が大きく変動し我が国にも影響が及び、我々中小企業もその影響を大きく受けてきました。

その影響をどうプラスに考え方を変えられるかが私たち経営者に求められています。例えば乾電池はプラスとマイナスがあります。マイナスの反対側には、プラスがあります。逆にプラスの反対には、マイナスがあることを忘れてはいけません。決して今の状況に一喜一憂するのではなく、常はどう手を打つか？経営者に問われ

ています。そのヒントが同友会の学びの場にあります。

スローガンの「Human first 新時代への挑戦」にあるようにまさに今、第4次産業革命の時代です。業務改革や事業再構築が中小企業にも求められています。そんな時だからこそ、人間尊重の経営を軸にいかにかに社員を活かすか！がこの新時代を乗り越えるカギだと私は思っています。

社員は会社の財産です。経費ではないのです。

今年は広島同友会も50周年を迎えます。会員も2,800名を超え3,000名を目指しています。先人が築いてこられた同友会のベースをもとにさらに中小企業の地位向上に努めてまいります。

10月の記念式典には会員の皆さんと共に達成感と喜びを分かちあえる年にしたいと思っています。

役員オリエンテーション 第4講

全社一丸の会社をつくろう～労使見解に学び、人を生かす経営をめざそう～

報告者：㈱オーザック 取締役副社長 岡崎 瑞穂 氏（副代表理事、福山支部）



岡崎 瑞穂 氏

㈱オーザックは、会長（夫）の父が1945年に岡崎製作所として創業、会長は大学卒業後、入社。私は結婚しても入社するつもりは無かったのですが、「結婚後まもなく、少し手伝ってくれる？」と言われ会社に出るようになりましたが、それ以来、ずっと働いています。同友会へは会長が90年に入会、私も同じ目線でいられるように女性部から本会へ入会し、いっしょに参加した例会では、どうオーザックで実践するか、食卓で遅くまでグループ討論の続きを行っていました。

■バブル崩壊と経営危機

岡崎製作所の時代は、3Kそのものの鉄工所で、社員の平均年齢が55歳を超え、若い社員の入社はありません。そこで一念発起、バブル景気に後押しされ、年商を超える投資で、新社屋、冷暖房完備の工場を建て、社名もオーザックに変更しました。しかし、程なくしてバブルが崩壊。売上が急激に下がり、1日に金利が9万円の借入金返済に迫られ、経営危機を迎えます。当時、会長は福山支部長を務めていましたが、同友会の会合に参加した後に会社に戻り、見積もりの作成や事務処理など毎日午前2時くらいまで続ける日が続きました。

同友会で経営指針が必須と学び、呉支部の会員の指針書を丸写し、最初の指針書をつくりました。全社員に配付しましたが、1年後、回収した指針書は1度も開かなかったまっさらな指針書でした。それでも毎年、会社の教科書として経営指針は継続しました。

■ターニングポイント その1：中期経営計画

ある時、ある社員が上司に「この会社の将来が見えない」というっていることを会長が知り、中期経営計画の作成を進めます。10年後のオーザックの姿を具体的な数値を含め、示すものです。それに基づいて、各部署では単年度計画を立て、それをまとめたものが経営指針（単年度の方針・計画）となりました。また、この頃、業界のあたりまえに捕らわれず「製造業もサービス業」のスローガンのもと、顧客サービス向上に

取り組みました。すると社員が主体的に改善活動を進めるなど社風が変わってきました。

■ターニングポイント その2：社員は家族

問題のある社員に対して上司が十分に指導できない状況がありました。会長がその上司に「なぜ、指導しないのか」と尋ねると「人間関係が壊れそうで言えない」といったそうです。「それなら、家族が同じことをしたらどうするか」と尋ねたら「家族なら叱ります」といったそうです。そこで、「社員は家族」という方針を持ち、家族のように喜びは分かち合い、必要な厳しいことは言い合う、そんな社風をつくってきました。

■ターニングポイント その3：週休2日制

働きやすい職場づくりの一環で、週休2日制に取り組むことになりました。休日が増えることから約8%効率化が社員との約束でした。そのための計画を社員が作成しましたが、会長自身はこれでは上手くいかないと思ったそうです。案の定、1年後には5%程度しか効率化が進みませんでした。社員に対して、約束通り、次年度は週休2日をやめ、以前に戻すと伝えました。すると、社員は新たな計画を作成し、これで新年度も週休2日を継続して欲しいと言ってきました。会長はこの計画書を見て「これならできる」と思ったそうです。結果、12%効率化（付加価値の向上）ができました。

頭ごなしに社員を指導するのではなく、失敗が糧になるような信じて任せる経営者の覚悟が、社員を大きく成長させると思います。

■まとめ

社員は観客（顧客）の前で踊る役者、観客を感動させるのもさせないのも社員自身だ、と社員には話しています。社員満足なしには顧客満足は実現できないからです。そして経営者の役割は、社員が自分の持てる才能を精一杯発揮できる舞台の環境を整えることです。まずは公私混同をせず、社員と強い信頼関係を築き、会社の将来を共に描きながら、社員もお客様も地域もそして経営者も幸せになる企業づくりを進めていきたいとします。（文責：事務局 源田敏彦）

総会議案検討に向けた「情勢学習会」 テーマ 激変の内外情勢をどうとらえるか ～中小企業振興（憲章）の立場から考える～

講 師 京都橘大学経済学部 准教授 小山 大介 氏



12月に開催された県理事会では、次年度の総会議案書作成に向けた情勢学習会を開催しました。今回、講演の概要（抜粋）をご紹介します。

■なぜ情勢分析を行うのか、羅針盤なき経営の危険性

現状、世界情勢は大きな変化を迎えています。世界平和は大きく脅かされており、中小企業の経営環境は大きく揺らいでいます。このような状況下で、国内外経済へ羅針盤を持たずして航海に出ることは大変危険です。航路図を描き、自社の船の位置を確認する必要があります。それから外部経済環境がなぜ発生しているのか、深く問い詰めなければなりません。「大変だ大変だ」と焦るだけでは、対策を立てることができません。これらの理由から情勢分析が必要となります。

30年前までは、「外部環境のことを知りたければ、アメリカのことを分析したらいい」と言われていました。しかし現在は複数の課題が世界で同時多面的に発生しています。1つ1つ分析し、対策（戦略）を構築しなければなりません。

中小企業憲章には「中小企業は日本経済の主役」とありますが、十分に力を発揮できない環境にあります。平和が脅かされる時代が到来しています。

経済や社会情勢を読み解き、経営に生かし、事業を継続していきましょう。

■世界情勢が経営基盤を直撃する

～地域経済・中小企業のグローバル化

中小企業を取り巻く外部環境の変化は複雑化しており、先行きの見通しが立たない状況が続いています。

現在ウイグル人権問題や再生可能エネルギーなど様々な課題があります。調達面においても厳しく見られる時代となりました。サプライチェーンの末端まで見な

ければなりません。これらによりどんな中小企業もグローバル化の影響を受けています。

2023年はコロナの影響により中国の生産が立ち止まるまで在庫難の影響があると予想されます。海外と取引がない会社でも間接的に影響を受けると考えられます。小売業や飲食、宿泊業でも影響はあります。2022年は日本の貿易収支が過去最大の赤字になりました。これは国内から資金が逃避していることを意味します。日本経済は6割が個人消費で支えられているため、購買力が失われている状態です。

だからこそ社会情勢を知り、経営に生かし、厳しい時代に事業継続させることが課題です。

■景気の「潮目」を読み解く

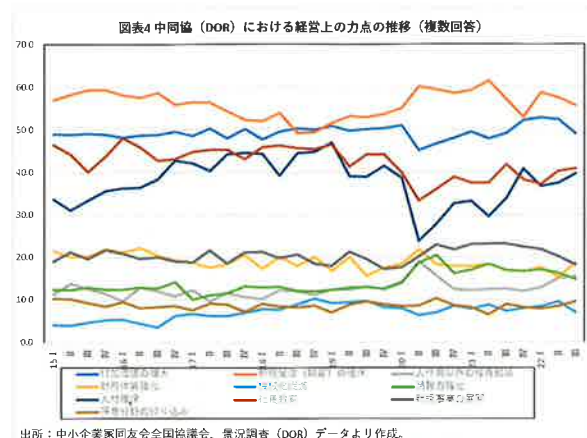
景況分析の結果より、バブル崩壊以降中小企業の景況は伸び悩んでいると言えます。現在景気は「よくはない」状態であり、先行きが不透明です。下図の通り2006年以降「景況の谷」が3つ存在していることが分かります。①2007年～2009年リーマンショック、②2011年東日本大震災、③2020年～2021年の新型コロナウイルス感染拡大です。更に、世界経済の不安定化、平和への脅威、ウクライナ戦争、米中対立などがあり、2023年はより一層、景気が悪化すると思われます。景気の山は2017年下期でした。通常、10年周期で景気の山谷がありますので、景気は後退局面となっていました（コロナ禍以前から後退局面あった）、2019年10月の消費税増税が決定的となり、その後新型コロナウイルスの感染拡大で不況に陥りました。



■経営上の課題は、「付加価値」と「資金繰り」

景況調査（中同協DOR）を見ると、2010年代から

の課題である「人材不足」に、近年は「仕入単価の上昇」が加わりました。次期経営上の重点として、下図の通り「付加価値増大」と「新規事業の展開」の回答が上位を占めています。付加価値をいかに継続的に高めていくかが、事業継続の大きな課題になります。付加価値を上げるためのヒントは、新規事業の展開にあります。



資金繰りについて、正規従業員数が20人以上の企業は比較的安定しています。ですが4人以下の企業は落ち込みが非常に早く切迫感があります。

コロナ禍であっても、採算が改善している企業はいます。しかし悪化している企業が同じだけいます。悪化企業をどのようにサポートしていくかが課題となります。金融機関や市役所等にこのような状況を伝え、様々な支援の拡充を要請することが必要となると考えます。

■中小企業の付加価値で、地域経済を活性化する

金利は、今後上昇する可能性が高いです。企業は資金調達面がかなり厳しくなります。

今後金利や金融機関の動向にさらに注視する必要があります。

今後の課題について売上高DI（Diffusion Index）と採算DIの差を狭めることです。（売上高DIが上がっても、採算DIは低調に推移している）価格転嫁が充分に行われず利益が上がっていない状態が続くと、事業継続が困難になります。

企業として収益を確保し、従業員の雇用と賃金を確保するためには付加価値がなくてはならない。地域内における付加価値の積み上げが地域経済の活性化を促します。

■国内外の政治経済情勢：増大する不確実性

～少子化、気候変動・災害増加、食料問題他～

今後も不確実性が増すだろうと考えます。国内、世

界、環境、（人権問題）についてしっかりと向き合わなければなりません。世界環境の変化が経営環境に大きく左右する時代になりました。多くの課題があり短期的に解決するものではありません。

国内では、少子化が問題となっています。2022年出生数は80万人を切ると言われています。日本国内の人口は急激に落ち込む可能性が高いです。

長期的視点では、気候変動・災害増加がさらに深刻化していくと考えられます。食糧問題と水の問題で平和が脅かされる可能性があります。

国外では、ウクライナとロシアの対立が問題です。短期的に解決する見通しが立たず平和が脅かされています。ロシアは石炭や肥料・鉄鋼・アルミニウムを、ウクライナはトウモロコシ・食製油・小麦を輸出しています。2023年度肥料価格高騰により大豆やトウモロコシなどの作物が不作となると考えられます。今後、小麦に代表される国際商品の調達が厳しくなるでしょう。

米中対立も深刻化しています。アメリカのトランプ政権下では、中国からの輸入品に25%の関税をかけています。高性能半導体の輸出制限を加えたことで、グローバルサプライ・チェーンの混乱が生じています。今後も不安定な状態が続くと予想されます。

■変わる「モノ」と変わらない「モノ」を見極める

これから非常に厳しい時代が訪れるでしょう。私たちは、時代の変化に合わせて「変わるモノと変わらないモノ」を見定めて行動することが大事です。中期的視点では、販売先の多様化や新規事業の展開。長期的視点では、外国産から国産の置き換えなど国を上げて取り組んでいかなければなりません。

中小企業の日々の経済活動が日本経済を支えています。最悪な事態を想定しつつ、楽観的に行動していきましょう。

（記：事務局 大塚）



広島同友会は50周年を機に「一般社団法人」へ組織変更します

第50回定時総会にて、広島同友会は50周年を機に「法人化を進める」ことが承認されました。

現在、正副代表理事会で準備を進めています。会員のみなさまに法人化を進めるにあたって、その理由や法人化後の姿などをまとめました。

ご一読いただき、ご意見やご質問がありましたら、事務局までお寄せください。

代表理事：栗屋充博、立石克昭、勝矢珠容子

法人化担当：副代表理事 瀬島高志

問い合わせ先：専務理事 源田敏彦（e-mail：genda@hiroshima.doyu.jp）

■なぜ組織変更（法人化）をするのでしょうか

・会内外の期待の高まり応え、公益性と共益性、および社会性の高い活動を推進するためです

同友会の活動は、目的や理念に照らして、共益性（会員相互の利益を図る）・公益性（多くの中小企業家の利益につながる）・社会性（広く地域の利益につながる）をもつ事が特徴です。

50年の積み重ねの中、任意団体でありながら2850名の会員を有し、広島同友会へ行政や他団体から、地域の経営者団体として期待や関心が高まっている一方で、法人格の有無が問われるようになりました。この期待の高まりに応えるために法人化が必要になってきました。

これまで金融アセスメント法制定や中小企業憲章、中小企業振興基本条例制定などに取り組むと共に、定期的なアンケート調査や広島県商工労働局との懇談会を毎年開催し、大学や金融機関との連携協定を結ぶなど公益性の高い活動を推進してきました。また、経営指針塾、社員教育、共同求人、障害者雇用など、共益性の高い活動を展開してきました。これらの取組をさらに推進するに相応しい組織形態となることが求められています。

地域で「よい会社、よい経営者、よい経営環境」

を広げる運動をさらに強力に展開し、行政や学校、金融機関、地域経済界などから、信頼される団体となるために、法人化が必要となってきました。

・同友会の資産保全ならびに諸契約の契約主体を明確化にするためです

高い共益性、公益性、社会性のある活動をおこなっているにもかかわらず、現在の預金口座、電話加入権、事務所賃貸契約等の資産と諸契約、車両の所有者は、任意団体であることから代表理事や事務局役職者の個人名義となっており、諸契約時に個人の身分証明等が求められます。金融機関の本人確認はより厳格になっており、個人と組織の所有区分を明確にする必要性があります。

高い公益性と共益性の活動をおこなう団体にふさわしい資産保全をおこない、契約主体を明確にするために法人化は当然必要な対応です。

・適正で公正な会計処理を一元的におこない、税対応を進めるためです

これまでも広島同友会は適正で公正な会計処理を行っており、より厳格な会計処理が求められる法人会計となっても大きな問題はありません。ただし一部、部会や地区会の繰越金などが県決算書

の貸借対照表に明記されていないことについて、きちんと資産として計上する一元的な会計処理が必要になります。

また、2023年10月1日からのいわゆるインボイス制度を踏まえ、消費税や法人税等についてもきちんと対応を進めます。

● 同友会活動には大きな変更はありません

現在の日常的な活動に大きな変更はありません。ただし、部会や地区会の会計処理について、一元化された県の決算書に明記するために、ご協力が必要になります。できるだけ事務負担などからない方法を検討しています。適正で公正な会計処理のためにご協力をよろしくお願いいたします。

● 事務局員の雇用の安定と新規採用

事務局員との雇用関係が明確になり、安定させることができます。

事務局員の採用面でも、法人への就職は本人や周囲にとって安心感が高まり、優秀な人材採用を進める上で有利と考えます。同友会運動を進めていくパートナーである事務局員採用と育成は重要な課題です。

■ 法人化検討の流れ

- 広島同友会は1973年10月6日に創立、以来、「任意団体」として、あるいは「みなし法人」、「権利能力なき社団」として運営されてきました。
- 広島同友会において、会員から、法人化してはどうかとの意見が時折出されましたが、法人化すると活動が制約される、また、任意団体として2000名を越える会に成長してきたことに「誇り」を持つという意見もあり、法人化は見送られてきました。
- 広島同友会において中期ビジョン推進プロジェクトが、2016年9月から2017年1月にかけて法人化の問題を検討し、「現時点では法人化しない」

という趣旨の答申を県理事会に報告しました（2017年7月）。

- 2019年3月、広島同友会の県理事会で承認された「第7次中期ビジョン」では、法人化を前提としない状態で「同友会のブランドを確立させよう」とうたわれていました。
- 2021年9月、広島同友会の県理事会において、法人化の問題について意見交換が行われ、同年12月の県理事会において、「50周年を機に法人化する方向性で進める」ことが承認されました。
- 2022年5月、定時総会で、50周年を機に法人化する方針が承認されました。
- かつての「社団法人」は設立には官庁の許可を受け、運営も官庁が監督・指導するもので、自主・民主・連帯の精神を理念に掲げる同友会にはそぐわない内容でした。しかし、2006年に成立、2008年12月に施行された公益法人改革関連3法より、非営利法人設立は登記による設立となり、法人格を取得しても自主的な活動が保障されるようになりました。この法改正が、法人化を進める背景にあります。
- この法改正を受け、2009年に北海道同友会が全国で初めて、一般社団法人に移行、以降、2015年福岡同友会、2020年に東京同友会、2021年に京都、香川同友会が法人化しました。現在、中同協、及び、広島同友会を含め、6つの同友会が法人化の検討・準備を進めています。

■ 法人化に向けたスケジュール

2022年 秋ごろ 会員への周知
2023年5月30日 県総会 法人化することについて承認
2024年5月 県総会 解散・設立 定款の承認 財産の移行等
2024年5月 登記
2024年度 諸規程、就業規則等の改訂、名義変更
2025年4月1日 新しい会計システムへの移行

政策委員会 勉強会

日本政策金融公庫 広島支店長をお迎えして

11月25日、政策委員会は日本政策金融公庫 広島支店 斉藤卓也 支店長をお招きして、「政策金融公庫の役割と広島の金融情勢」をテーマに勉強会を開催しました。

支店長から、公庫の理念として、「政策金融の的確な実施：国の政策の下、民間金融機関の補完を旨としつつ、社会のニーズに対応して、種々の手法により、政策金融を機動的に実施する」という紹介あり、民間金融の支援が受けづらい中小事業者に対して、金融支援を行うのが目的との説明がありました。民間金融機関と公的な金融機関とバランス良く取引を進めること

が大切とのことでした。

その後、公庫の事業内容やコロナ禍の支援状況、県内の景気動向、具体的な支援事例、事業承継の支援、資本性劣後ローンなど、丁寧にお話をいただきました。

金融公庫は県内に広島支店の他、福山、尾道、呉に支店があります。各支部政策委員会においても該当支店と交流を深めていこうということになりました。

(文責：事務局 源田)



修道大学の起業家精神養成講座

～3人の女性経営者が登壇

11月15日、広島修道大学商学部の起業家精神養成講座で㈱エヌ・スタイルの流田尚子社長が報告、創業の経緯に始まり、卸から直販に挑戦していく事業展開をリアルに語りました。「特別養護老人ホームやグループホームの入所者の皆さんが、美しく着飾ることで元気になるのを目の当たりにし、これだと思った。そこで移動ブティックを展開、訪問販売に手ごたえを感じていた矢先のコロナ禍。老人ホームなどへの訪問がダメということになり、売上がたたなくなった。でも、絶対あきらめない」と経営者の心意気を伝えました。

この起業家精神養成講座への講師派遣は、事業計画

の作り方を教える広島信用金庫さんと協力して5年前から行っており、今年度同友会からは、10月18日に㈱勝矢和裁の東葉衣取締役、12月6日には㈱キャピタルコーポレーションの村井由香社長など3人が登壇しました。

(文責 国広)



Jobway企業展 開催

2022年11月26日（土）、広島テレビ1階・広テレホールと福山大学社会連携研究推進センターの2会場にてJobwayローカルジョブサミット（以下、企業展）を開催しました。

この企画は広島同友会の共同求人活動に参加する企業（Jobway2023）から広島・福山・呉地域から選



企業展での学生ポスター展示

定し、地元大学の学生が大学別でチームとなり、各企業を取材し企業ポスターを制作しプレゼンを行うものです。今回の開催で3回目と

なります。参加対象対象者は大学・短大・専門学校の学生で全学年向け。

昨年度は広島修道大学・広島女学院大学・安田女子大学・福山大学の4大学でしたが、今回は更に3大学（県立広島大学、尾道市立大学、広島文教大学）が初参加。合計7大学の学生が20社の企業を学生の感性で調査し、パネル展示とプレゼン合戦を行いました。

(文責 事務局 児玉)



広島会場 企業展の様相



福山会場は連携協定を結んでいる福山大学内で開催

新 会 員 の ご 紹 介

12月の支部理事会で承認された皆さんです。

支部名	地区名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 住 所	推せん者名
広島中	中②	情熱アシスト	代 表	田 頭 和 茂	広島市安佐南区安東4-8-10	桑田浩夫・横田泰行
			中小企業の目標設定・達成に特化した人材研修 リーダー研修 中堅社員の育成研修			
	東	岡崎社会保険労務士事務所	所 長	岡 崎 晃	広島市安佐南区高取南1-24-2-6	山崎 耕平
	東	(株)K. クリエイト	代表取締役	小 田 健 嗣	広島市西区中広町2-10-6	田室博康・西本洋介
	東	(株) 廣 友	土 工 事 業 塗 装 工 事 業 飲 食 業	土 田 晴 輝	広島市西区庚午南1-34-8	原田泰弘・山崎耕平
	南①	クレジオ・パートナーズ㈱	天然石 パワーストーン 風水グッズ 開運縁起物の輸入卸 小売販売	税 理 士 塩 田 洋 司	広島市中区紙屋町1-1-17 広島ミッドタウンビル	内海祐一郎
	南①	三晃不動産(株)	事業承継 資本政策 企業再編及びM&Aのアドバイザーサービス	取 締 役 矢 野 敏 行	広島市南区比治山本町14-27	小田 誠記
	南①	(株)NEUTRAL	不動産の賃貸・売買・管理	代 表 取 締 役 新 祐 哉	広島市西区井口台1-14-21	竹田 智道
	南②	(株)梅田内装	不用品・家具・家電・ブランド品・アクセサリなどの買取全般	代 表 取 締 役 梅 田 剛	広島市南区山田新町2-10-20	澤 隆司
	南②	整体院O緑庵	内装業	代 表 表 久 重 浩 之	広島市中区本川町2-6-8第3ひまわりビル403	板坂裕治郎
	南②	(株)L a m u e	整体院経営	代 表 取 締 役 金 本 典 士	広島市安佐南区上安2-11-8 昭和マンション101	石田 佳夫
	南③	K A N B E X	エアコンクリーニング 犬服の輸入販売	代 表 上 部 武 明	広島市中区小町5-29-802	道垣内文夫
	南③	金本建築設計(株)	設備メンテナンス 補修 足場組立解体 塗装 撤去 全般業務	取 締 役 金 本 晃	広島市佐伯区皆賀3-16-7	平井勇樹・平井淳司
	南③	c l u b T	建設業(型枠大工) 不動産業 デザイン業	代 表 表 高 岡 寛 史	広島市中区堀川町1-10 トーホービル3F	水野 真琴
	南③	(株)c o z y	ラウンジ キャバクラ	代 表 取 締 役 川 股 圭	安芸郡府中町大通3-1-6	田部 幸喜
	南③	吾 徳	理容業	代 表 表 山 口 剛 史	広島市中区薬研堀1-3	水野 真琴
	南③	三晃不動産(株)	飲食店	取 締 役 見 崎 高 志	広島市南区比治山本町14-27	小田 誠記
	南③	昇 電 工	不動産の賃貸・売買・管理	代 表 表 迎 川 昇	広島市南区皆実町6-14-26 田上ビル1F	山崎善史
	南③	(株)F a m	電気空調管工事 不動産賃貸 ビルメンテ	専務取締役 東 祐 介	広島市中区富士見町16-4-603	鈴木 麻里
	南③	MIX BAR ROSSO	飲食業サービス業経営 人材育成 飲食店プロデュース業務 飲食店コンサルタント業務	代 表 表 竹 本 カラル	広島市中区薬研堀2-17 田上ビル502	水野 真琴
	南④	(株)住宅ケンコウ社	ミックスバー	代 表 取 締 役 社 長 天 野 貴 生	広島市中区本川町2-5-35	加藤健太郎
広島西	廿日市	椿	住宅のメンテナンスとして劣化対策や検査・点検と害虫防除を中心としています	共同経営者 菊 川 優 華	広島市中区薬研堀6-8 Roling薬研堀Ⅱ4F	今田敬義・中田薫一
			スナック			
広島北	安佐北	東邦工業(株)	社長執行役員 丸 山 洋 彦	広島市安佐北区安佐町飯室6861-9		今津 正彦
			産業用省力化機械の設計・製作を行っている会社です。			
福 山	F	(同)エルコーポレーション	代 表 社 員 長 野 と も み	福山市南町2-22 林ビル303		大植 栄
	G	(株) ゆ う ゆ	主に運転代行 来年には日本酒販売と空き家管理と古民家リノベーションを予定	代 表 取 締 役 山 本 文 子	福山市今津町4-8-4	能登 雅子
呉	S	(有) 由 工 房	エステ 浴場業	代 表 取 締 役 西 永 知 史	府中市父石町859-10	高田展明・立石道宏
	広北	(株) 響	リフォーム リノベーション 新築	取 締 役 折 本 三千代	呉市広本町1-1-31 三崎ビル2F	大澤仁志・藤敏大輔
尾 道	音戸倉橋	(有) 山下鉄工所	呉市広で飲食業を営んでいます	取 締 役 山 下 葉 子	呉市音戸町波多見6-9-20	川上 確
			自動車部品等(ボルト切削機械加工)	宮 本 成 己	尾道市栗原町1270-144	山本浩矢・山田きよ美・花本隆資
東 広島	東広島西	(有) 兼 網	菓子製造	代 表 取 締 役 水 ノ 上 由 和	尾道市高須町2009-1	多田 雅哉
	東広島西	(有) 匠 工 業	給排水・衛生設備工事 水道施設工事 管工事	代 表 取 締 役 兼 網 尚 徳	東広島市西条町御園宇2403-1	宮岡 睦尚
三 原	東広島西	平和機械(株)	飲食業	代 表 取 締 役 沖 健 史	東広島市志和町志和堀333-12	荒古江友宏
	東広島東	ユ ニ レ ク	設計 製作 現地取付 主に設備工事 新規事業でドローン及び3Dスキャンの予定	代 表 取 締 役 有 田 周 平	広島市安芸区上瀬野1-17-9	下條 孝志
三 原	東広島東	(株) 東 広 設 計	軽金属部品の精密部品加工	代 表 表 黒 口 慎 也	広島市南区比治山本町14-24-501	下條 孝志
			様々な制作物やデザインをしております IT・情報関係のコンサルもメインです	代 表 取 締 役 資 浦 顯 正	東広島市八本松東3-29-15	宮原 和樹
三 原		Conception Mimi	自動車関連の板金・内装品・音響部品の金型設計・製作・管理	代 表 表 尼 子 美 枝	尾道市栗原町1-3-2	吉永 周平
			HIP作成・ロゴマーク作成・イラストオーダー パナー作成など デザイン全般 カフェ経営			

第7回理事会の報告

日時 12月19日 議長 錫木副代表理事 出席 33名

【報告事項】

- 中同協関係で、下記の項目について報告がありました。
- 中国ブロック入会候補者紹介キャンペーン(12/1-1/31)
- 第53回中小企業問題全国研究集会(3/2-3/3 長野・Zoom リアルの分科会・Zoomの分科会)
- 組織・爆然増強より(文書報告)、11月は、入会22名・退会7名、会員数2827名となった。
- 財政部より(文書報告)、11月残高試算表(執行目安66.7%)、月次会計は順調に推移。次年度に向けて、予算請求、会員数の見込み、周年行事予算請求の提出をお願いした。
- 経営労働委員会より、11月・12月は「企業変革支援プログラムstep1」登録月間。広島同友

会として654件の登録となっている。

- 広島同友会創立50周年の取り組みについて、「第51回青全交の設営」「創立50周年記念誌」の準備状況について報告。
- 県総会議案検討委員会について、「情勢と経営課題アンケート」「総会方針の振り返りと次年度への課題アンケート」の依頼あり

【承認事項】

- 下記の項目について承認されました。
- 新型コロナウイルス第47報。(感染対策レベル2継続) ※広島県より、12月に入り新規感染者が増加傾向。病床がひっ迫しているとの情報あり。 ※マスク着用、検温、アルコール消毒、換気の対応を徹底しましょう。

【情勢学習会】

広島同友会 次年度の総会議案づくりに向けて、情勢学習会を実施。テーマ「激変の内外情勢をどうとらえるか」講師 京都橘大学 准教授 小山大介氏。(文責 事務局 川口)

事務局から

皆様、あけましておめでとうございます。事務局全員でご挨拶させていただきます。

ここで今年の抱負を。源田専務理事は「節目の年の取り組みを、会員の皆さんとともに無事に成功させたい」と語ります。

今年もがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



■会員名簿アプリに 生年月日欄を追加

皆様にご活用いただいている名簿アプリに「生年月日」の項目を加えました。

ただし、この項目は重要な個人情報ですので、事務局からは入力をいたしません。

ご希望の方のみ、ご自分でご入力をお願いいたします。

手順は、「設定」→「会員情報編集」→「鉛筆マーク」をタップし、生年月日欄（カレンダー方式）で入力し、「更新」をタップ、です。

どうぞよろしくお願いいたします。

訃報

広島東支部南2地区会会員の山部晃路氏（山部印刷㈱ 専務取締役）が12月17日にご逝去されました。55歳。氏は2005年に入会、地区会役員などを務められました。

広島東支部安芸地区会員の吉田栄二氏（㈱シーエル広島 代表取締役）が12月28日にご逝去されました。68歳。氏は1992年に入会、支部理事などを務められました。

ご冥福を心からお祈りいたします。